

大阪 在庫余力抱え下げ含みのまま月替わり

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況はなおも下げ含み。電炉筋の多くが在庫余力を抱え、地区相場が他地域や輸出価格と比べて高値が形成されていることにより、市況は下落圧力を高めたまま9月を迎えている。2日時点での大阪地区のH2実勢は4万7000~4万8000円、一部上値4万8500円ところで推移。

月替わりを迎え、先週のような極端な制限買いが緩和へ向かっている。また、今週末もしくは来週前半に夏季炉休を終え、それと同時に、市中からの向け先が

分散してくため、荷動きの落ち着きが予測されている。

しかし、電炉側にとっては先週までの好調な入荷を支えに、在庫面に余力を抱えた状況には変わらない。東京製鉄宇都宮工場は先月30日から追加下げを行い、国内や輸出市場に底入れの兆しが全く見えてこない。地区相場は同社全拠点や輸出商談と比べて割高感が鮮明となっているため、電炉側からは「9月も下げ相場が継続となり、他地域との格差は埋まりやすい環境」と指摘し、下げ意欲を高めたままにある。

鋼ドライ粉バラ メーカー間の需要温度差目立ち先安ムード

(大阪) 鋼ドライ粉バラ相場はなおも下げ含み。発生難が続きつつ、電炉側の需要も上向きにくいことにより、先安気配は緩まってこない。

先週は27日の一斉下げに加え、30日から岸和田製鋼が単独でドライ粉類のみ1,000円の追加下げへ踏み切ったことにより、実勢レベルは4万2500~4万4000円へと水準を落とした。大口需要家による需要面に大きな変化はなく、市中発生も停滞感を強めている。しか

し、他の電炉筋による引き合いに低調感が目立ち、上値提示筋へ出荷が向けられやすい環境にあることが、今回の市況押し下げにつながったと推測される。

9月も大口需要家の一定の引き合いは継続しそうだが、生産量の低下に伴い、他の電炉筋の需要が上向くような環境にない。高値圏への電炉向けに市中玉が流れやすい構図に変わらないため、続落見通しは根強いままにある。

ワンライブ、ひょうご産業SDGs認証事業に認証

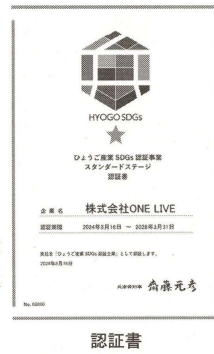
(兵庫) 金属リサイクルやアプリの開発を手掛けるワンライブ(本社=兵庫県尼崎市、百井一貴社長)は8月16日、「ひょうご産業SDGs認証事業スタンダードステージ」に認証された。

同制度は、ひょうご県産業活性化センターから「ひょうご産業SDGs推進宣言企業」として登録された企業を対象に、兵庫県がSDGsに関する取り組みを評価・認証する。この制度を通して宣言企業の取り組みのさらなる深化を促し、SDGs先進県を目指すというもの。

今回、同社の金属リサイクルやデジタルコンテンツの配信事業がSDGsの達成やDX推進に貢献している

こと、人材確保のために働きやすい職場づくりに努めていることが認められ、同制度に登録・認証された。

同社はこのほか、「あまがさきSDGsパートナー」や「ひょうご産業SDGs推進宣言事業」などの登録も受けている。環境保全につながる企業PRを積極的に行っており、企業イメージの向上につなげたい考えだ。



本社
京阪神地区を3工場体制で
東初島 網羅! 枚方

松本産業株式会社

環境マネジメントシステム ISO14001認証取得

- 本社工場
☎660-0832 尼崎市久々知3丁目23番33号
☎(06) 6499-1231番(代)
 - 東初島営業所
☎660-0832 尼崎市東初島町2番45
☎(06) 6489-0101番(代)
 - 枚方営業所
☎573-0003 枚方市出屋敷西町1丁目21番1号
☎(072) 847-3592番
- <http://www.matsumoto-co.jp/>